

FLORE21 ホットニュース

3月になりました。

花業界にとっては文字通り長い冬が終わって、商売に活気が出てくる時期です。

最近の激しい気温変化のため花の入荷量も気温に合わせて増えたり減ったりで落ち着きませんが、相場は徐々に上がっていきます。

そして卒業式シーズンが始まると、送別需要の月末まで矢のごとく過ぎていく3月。

フロレ21にとっては決算月でもある3月です。

たくさんのお客様が各市場店頭で足を運んでくれることを期待しています。

今週のホットニュースは、

○大田店 花業界の物流問題を考えさせられました。九州出張。

○世田谷店 「梅まつり」 水戸市「偕楽園」へ行ってきました。

○葛西店 今年も新品种ぞくぞく チューリップ

○会長小池のコラム(過去記事) show the flore の意味

以上の3レポート+1です。それでは、どうぞご覧ください

OFLOの部屋

こんにちは！

大田店の工藤です。

今回は先月出張で訪問した『杉本神龍園』さんと九州久留米市の市場『九州日観』さんをちらっとご紹介します！

セローム・スーパーアトムの
「幹上がり」

成長の遅いスーパーアトムがここまで育っているのを初めて見ました。





アロカシア・タイニーダンサー
タイニーダンサーもがっしり育っていて最高です。



ホヤ・シギラティス

シギラティスは作ってる所少ないです。
人気があるかと言えば・・・・・・・・ですが自分的には渋くて好きな品種。



ザミオクルカスの斑入り

ザミオクルカスの斑入りは初めて見ました！
これは出荷開始したら絶対ゲットしたい逸品。

最後に久留米市にある市場「九州日観」さん。(鉢物 80% 切花 20%)

20 年以上も前から市場内での台車移動の物流を辞めて、当時最新鋭の物流システムを導入。

同行した上司の竹内と場内案内していただきましたが、普段鉢物しか見てない僕も驚くことが多々有り、これからの物流って、、と少し考えさせられました。



←農家さんがトラックで来ているところにちょうど。

これから荷物を下して、写真右のグレー色のトレイの中へ農家さん自身が出荷物をセットしていきます。

この時点でももちろん市場スタッフの手はかけられていません。

そしてこの先はすべてローラー（ベルトコンベア）に乗って全自動で移動していきます。

（グレーのトレイに貼られたバーコードを各所にあるセンサーが読んで行き先をコントロールしています）



←同じ商品が 10 ケース出荷されてとして、セリ分見本の 1 ケースが流れてくる所。

ここで現物を見て相対で商品を買えます。

買参人が購入した（予約注文品・相対・セリ）品物はさらにローラーに乗って流れていき、各買参人の指定された荷受け所へ。

右画像の構造物

- 最初のグレー色のトレイが約 50 個並ぶレーンが横に 110 本！

- それが×6 階建て！！

- 鉢のケースが
30000 ケース以上！！
収まります



これの凄いところは登録している買参人の数分(詳しい数忘れました)出口が有り、指定された荷受け場所へ**全自動で運んでくれること**です。

コンピューターとバーコードがあればこんなことができます。最後の最後まで物流に関しては人の手がかかっておらず最大限の省力化がなされています。

ただ近年ではトラック輸送の問題から台車に商品を積んだままの輸送が勧められており、逆にこのような台車を使わない物流システムとの相性の悪さがネックになっているようです。

普段当たり前のように注文すれば商品が来る。

セリ日に市場に行けば商品が有る。

と思って過ごしていますが、陰ではこのように日々進化・変化する物流があるんだなあ、と意義のある市場訪問となりました。

端折り過ぎて説明足りなくてすみません！

詳しいことは大田店鉢物担当の工藤まで聞きに来てください！

では。

大田店 工藤

世田谷店おすすめ

世田谷加工部佐藤です！

今回は茨城県水戸市にある「偕楽園」に行ってきました。

「第 128 回水戸の梅まつり」が 2/10（土）～3/17（日）まで「偕楽園」と「弘道館」で開催されていてたくさんの方が訪れていました。



水戸の梅まつりは 120 年以上の歴史を持ち、開催期間が長いと思いますが偕楽園の梅は早咲き・中咲き・遅咲きとあって、長い期間梅を楽しむことが魅力です。

「偕楽園」は江戸時代の 1842（天保 13）年に水戸藩第 9 代藩主・徳川齊昭によって造園されました。名称の「偕楽園」には「領内の民と偕(とも)に楽しむ場にしたい」という齊昭の思いが込められたと言われてます。

金沢の「兼六園」や岡山の「後楽園」と並び「日本三名園」のひとつで広大な園内に約 100 品種 3000 本の梅が咲き誇ります。

「弘道館」は 1841（天保 12）年に水戸藩第 9 代藩主・徳川齊昭により創設された藩校。最後の将軍・徳川慶喜は弘道館で幼少期に学び、大政奉還後には謹慎生活を送りました。幾度の戦火を免れた正門や正庁、至善堂は国の重要文化財に指定されています。約 60 品種 800 本咲き誇ります。

偕楽園は梅の名所として有名ですが、その他にも四季折々の見所があり、春には桜、初夏には深紅のキリシマツツジ、真夏には緑あざやかな孟宗竹や杉林、秋には可憐な萩の花やモミジが見られます。また、偕楽園の眼下に拡張した公園は梅を中心に田鶴鳴（たづなぎ）、猩々（しょうじょう）、窈窕（ようちょう）の各梅林、芝広場の四季の原、水鳥たちが遊ぶ月池などが点在し、広大な風景をゆっくりと楽しめます。



←千波湖

徳川光圀像（水戸黄門）





白加賀（しろかが）

花色…白 容姿…一重

加賀梅として江戸時代から栽培されてきた古い品種で、大きさ・品質に優れた実がよく結実します。



藤牡丹枝垂（ふじぼたんしだれ）

花色…淡紅色 容姿…八重咲

優雅に枝をしだれさせ、独自の風情があり栽培が容易で木の寿命が長く、古木になるほど味わいが出ます。



冬至梅（とうじばい）

花色…白 容姿…一重

暖かい地域では 12 月中旬頃より開花が始まる早咲き品種です。お正月の梅として使用されています。枝が細く、鉢植えや盆栽に向きます。

光文亭表門（こうぶんていおもてもん）

・偕楽園の正門に相当されている門で創建当初の建築物で築約 170 年。





孟宗竹林 (もうそうちくりん)



水戸の六名木として月影(つきがげ)、虎の尾(とらのお)、烈公梅(れっこうばい)、白難波(しろなにわ)、柳川枝垂(やながわしだれ)、江南所無(こうなんしょむ)があります。

今回は見逃してしまったのでもう一度訪れてみたいです。



昨年の水戸の梅まつりの様子ですが、水戸の梅大使や市公認キャラクター「みとちゃん」や黄門さま、助さん、格さん(水戸黄門愛好会)らが偕楽園東門周辺で出迎えたり記念写真を撮ったり弘道館周辺や偕楽園でライトアップイベントが行われます。



また3/1~3/3には全国150種類以上の梅酒を飲み比べできる「梅酒まつり」も開催される。梅酒好きにはたまらないですね！

梅まつりが始まって以来、暖かい日が続いています。

そのため、ここに来て一気に開花が進んだように感じます。メインの東西梅林を眺めると5分咲きといったところですが、咲き始めたばかりでつぼみが膨らんできたものや、満開を迎えているものなど樹木によって咲き具合は様々です。

見頃を迎えており梅の香りも漂ってきた偕楽園をぜひ散策してみてください。

世田谷店・加工 佐藤

仕入れの素☆葛西店

先月の初めの大雪の日、交通手段を奪われた私は上司の車に同乗させてもらったのですが幹線道路の通行止めに遭遇しえらく難渋したのですが.....

春も間近にきています。そんな春を感じさせてくれるお花が《チューリップ》です。カラフルな花色や様々な咲き方で《春》を運んでくれるチューリップが市場に溢れています。



アンタクティカフレームとボージャングル

どちらも複色 清楚系とポップ系

ネーミングも南極大陸（アンタクティカ）とジャングル 好対照



サンパブロとスイートバタフライ

フリンジ咲 開花時の色味と表情の変化がステキです



ヴェルサーチとコッパーイメージ

フリンジ咲と八重咲 どちらもゴージャス



バラードレディーとキングスクラウン ユリ咲とクラウン咲

チューリップは光の方向に向かって伸びていきます。
開花していく色合いや表情、茎の曲がりや伸びていく変化していく様子楽しんでください。



グリーンの一筋がスタイリッシュな スプリンググリーンと
色彩も形もコロンとして、そして名前もかわいい カチンカ

定番のものなど沢山の品種が流通しています。

新しい品種との出会いがありますが、ひっそりとサヨナラをしていくものもあります。一期一会をお楽しみください。

今年はまだフリンジ咲のネグリジェを見てないな、去年は染のウクライナもあったしね！

- ・一重咲 最もスタンダード 色合いも豊富です
- ・八重咲 花びらが多く、丸いフォルム 豪華なイメージ
メジャー品種：アンジェリケ（現在流通量少）ブルーダイヤモンド（紫）
- ・ユリ咲 咲き方がユリのような形 すっきりとしたスタイル
メジャー品種：プリティーウーマン（赤）バレリーナ（オレンジ）
- ・フリンジ咲 花びらの先がギザギザ、一見おちょぼロー輪でもゴージャス
メジャー品種：ベルソング、ハウステンボス（どちらもピンク系）
- ・パーロット咲 花びらがウェーブ状、オウムに似ているから
メジャー品種：スーパーパロット（白×グリーン）恋心（ピンク×白）
- ・ピリディ咲 花びらにグリーンのストライプ入りスタイリッシュ
メジャー品種：スプリンググリーン
- ・クラウン咲 王様の冠をイメージさせるチョイ個性を主張するスタイル
メジャー品種：クラウンオブダイナスティ（ピンク）ホワイトリバスター（白）



フォクシーフォックストロットとローマンエンパイア

八重咲と一重咲ですがどちらもボリューム感があります。

これからの卒業・入学シーズンにピークを迎えるチューリップです。
そのかわいらしく、時にはスタイリッシュな姿も見ることも今年
はあとひと月あまりです。思う存分、心置きなく楽しんでください

【葛西店の店頭ディスプレイ】↓↓↓

使用しているチューリップ

ウィンターパーロット、ディージェーパーロット、バーニングファイヤー
バレリーナ、バックパッカー、エレガントクラウン、ノースキャップ



葛西店の店頭とフローネットにたくさん並べます！！

葛西店 阿部

会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

「show the flore 桜 at 葛西」(2017年03月03日号より)

葛西市場に仲卸として入場して6か月がたちました。大田市場と世田谷市場を除き
東京にある葛西市場、板橋市場、北足立市場は多少の違いがあっても仲卸ブースへの
お客さんの来店は極めて少ない。

仲卸として店頭での商いは重要である。お客様は店頭での商いを見て、次のステッ
プである仲卸への発注と言う行為へ進んでくれる。

店頭への来店が少ないということは、そのチャンスが少なく大田店や世田谷店から
見ると大きなハンデキャップを持ちながらのスタートであった。



とはいえ、一人でも多くのお客様に来店していただける努力はフローレ葛西店のスタッフの仕事であり、その仕事をフォローするフローレ21全体の仕事でもある。しかしこの仕事は、従来の葛西店がロジステック機能を活かしウェディングや小売店への配送をしていたのと同じぐらいの努力と根気が必要とされる。

フローレ21を知っていただき、そして来店いただく。そのための花屋さんへの訪問活動。この訪問ではスタッフは店の特徴とフローレ21に対する要望など、お客様の声を聴くことから始めなくてはならない。

お客さんの話を充分聞いて、フローレ21を知っていただくツールをお渡しして、できうるならポイントカードを作っていただく。「葛西市場にお越しのせつにはぜひ来店いただきたい」地道に一軒ずつ訪問することはすこぶる大事である。6か月でお客さんが作ってくれたポイントカードは400枚を超えた。葛西店のスタッフの大きな成果だ。

葛西店から「ショーザフローレを開催したい」という要望があり、2月27日に葛西市場フローレ21仲卸ブースで開催した。

多くのお客さんにフローレ21は「何を目指して花を商いしているのか?」「フローレ21はどのような会社なのか?」「フローレ21のスタッフは?」。

全てをお客さんにさらけ出しお客さんに見ていただくイベントです。葛西市場のお客さんは両国市場や浅草橋市場などの下町と呼ばれている地域の花屋さんが多い。まさに江戸文化が生まれた地域である。花においても様々なしきたりや習慣をつくり守ってきた東京では唯一の地域と言ってよい。であるからゆえに下町のお客さんは目が肥えて花の知識も玄人並だ。「仏花の頭は白菊」「花が裏を向いてる」「季節には季節の物を飾る」きりがなくらいにお客さんからお説教をいただく。

しかし裏を返せば花屋さんがそれをお客さんに教えてきたと言うことである。地域の中でしっかりとした知識を持ち、お客さんも育ててきたのが下町の花屋である。

「葛西市場のお客さんは品物にうるさい」「新しい花にはなかなか手を出してくれない」と言われている。

「ショーザフローレ」は店内から店頭まで桜を余すところのないぐらい飾り付けた。そして季節の様々な花で覆いつくし、デザインされた作品がいくつも飾り付けられた。「夢のような空間」と表現しても十分だ。

フローレ21で扱っている器、入手困難な鉢物も枝ものも展示販売された。ポイントカード会員や地域の花屋さん600人にDM、大田店や世田谷店の店頭でのフライ

